



ワーク・ライフ・バランスセミナー

# パパの育休!企業にとってもイコトあり!?



皆さん、こんにちは!

今号は、2月20日に長野市子育て支援事業所協議会と長野市が主催したワーク・ライフ・バランスセミナー「パパの育休リターンズ」に参加し、大いに感銘を受けましたのでその内容をご紹介します。

## 育児休業、どれくらいの人が取っている!?

まずは社会保険労務士の小島智さんより説明があり、令和4年の育児休業取得率は女性80.2%、男性17.1%で男女差は大きいもののご数年の男性の取得率は伸びています。企業は従業員から妊娠出産の申し出があった場合、育休制度の説明と取得意向の確認が義務付けられます。また、現在育休時の給付額は社会保険料免除と合わせて手取りの約8割ですが、今後国は手取り10割を目指し、企業も独自に育児給付制度を設けるなど、育児休業取得の機運は加速しています。

会員事業所を対象とした社会保険労務士による無料の個別相談会もご利用ください。

## 業務の棚卸しで無駄を省き、育休後は段取り力と忍耐力もUP!

実際に育児休業を取得した、八十二銀行昭和通り営業部 下野敦之さんとこども広場じゃんけんぼんスマイルパパ部 土戸徹也さんは、事前に上司とよくコミュニケーションを取り、他の職員に引き継げるよう業務の棚卸し(リストアップ、早め処理、分担など)を行ったところ、やらなくてもいい業務が結構あることに気づいたそうです。また、育児経験により段取りよく早く仕事を終わらせることができ、多少のことでは動じないメンタル強化など、復帰後の仕事にも大いに役立つことがわかりました。

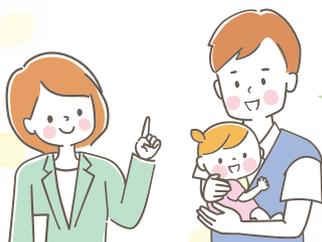
## 企業側も、社員と協力しながら乗り切れない!

仕事が属人化していて引継ぎが難しい場合は?と質問された八十二銀行人事部 北條有咲さんは、「これを機に業務の属人化を解消するなど、何とか乗り越える方法を考え事例をつくっていくしかない」と強調。また、そのためには時間が必要なので早く申告してもらえるよう制度の周知がとても重要なんですね。

「育児休業」される企業 = 業務の棚卸し(スリム化) = 引き継いだ部下の経験値UP

「育児専念」する本人 = 家事育児の大変さ知る = 忍耐力UP

休業準備期間を長くとれるように早めに申告して!



育児は大変だけどその時しかない愛おしい時間



セミナー終了後も話を聞く塚田副会頭